

トピック 農耕はいつから始まった？

かつて日本では、稲作をはじめとする農耕は弥生時代に伝えられたと考えられていました。戦後間もないころ発見された登呂遺跡(静岡県)で大規模な水田のあとが発見されていたからです。

しかし、板付遺跡(福岡県)などの発掘により、それ以前の縄文時代後期に稲作がおこなわれていたことがわかりました。そのため、稲作は縄文時代には伝わっており、弥生時代に全国へ広まったのではないかと考えられるようになりました。

また、縄文時代最大級の集落とされる三内丸山遺跡(青森県)では、大量のクリ(栗)が出土しており、その遺伝情報の研究から、これは野生のものではなく、人の手で栽培されたものであると推定されます。このことも、縄文時代の農耕を証明するものです。

歴史は、新たな発見や研究方法の進歩により「変わる」ものである、このことを頭に置きながら歴史の学習を始めていきましょう。



稲作の起源と伝来ルート

※起源と伝来ルートにはさまざまな説があります。



三内丸山遺跡(青森県)

学習の要点

1 「年代」のとらえ方

歴史は、「いつ」「どこで」「だれが」「なぜ」「何をしたか」を学ぶ学問です。このうち、「いつ(年代)」を学ぶのに必要なのが、年代です。年代をとらえるには、次の3つを知る必要があります。

① 西暦 ➡ 1

イエス・キリストが生まれたとされる年を紀元1年とし、その前を紀元前、その後を紀元後とするものです。

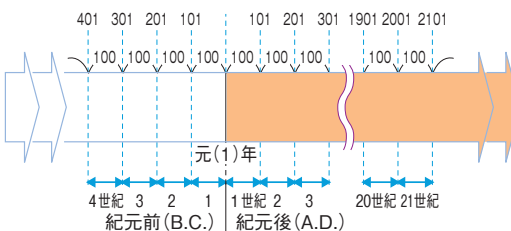
② 世紀 ➡ 1

100年をひとまとめにしたものが世紀で、西暦1年～100年が1世紀、101年～200年が2世紀となります。

③ 元号 ➡ 2

日本独自のものです。「明治」「大正」「昭和」「平成」「令和」など、現在は天皇がかわるごとに元号がかわります。

▼ 1 西暦と世紀



※西暦では、「0年」はありません。

▼ 2 各元号の「元年」

- ・明治元年 = 1868年
- ・大正元年 = 1912年
- ・昭和元年 = 1926年
- ・平成元年 = 1989年
- ・令和元年 = 2019年

第1回 大昔のくらしとくにの成り立ち

2 旧石器時代(約13000年～12000年前まで)

(1) 大陸と陸続きだった日本 ⇨3

いまから数十万年前、わたしたちの住む地球は氷河期とよばれるとても寒い時期でした。当時の海面は現在よりもとても低く、日本はユーラシア大陸と陸続きでした。そのため、大陸に住んでいたマンモスやナウマン象などの大型動物が日本にわたってきて、それを追って移住してきた人々がわたしたちの祖先であると考えられています。

▼3 大陸と陸続きだった日本



(2) 旧石器時代のくらし ⇨4

大陸と陸続きだったころの人々は、狩りや採集をして生活していました。狩りには、石をうちくだいて作った打製石器が使われたため、この時代を旧石器時代といいます。当時の人々は住居をもたず、ほら穴などで生活していました。

▼4 打製石器(旧石器)



※岩宿遺跡で打製石器(旧石器)が発見され、その後、調査が進んだことによって、日本にも旧石器時代があったことがわかりました。
 ※打製石器をつくるのに、黒曜石という黒色のガラス質の岩石が使用されました。

(3) 旧石器時代の遺跡

① 野尻湖遺跡(長野県)

ナウマン象の歯の化石などが見つかっています。

② 岩宿遺跡(群馬県)

相沢忠洋によって、打製石器が発見されました。

3 縄文時代(約2300年前(紀元前4世紀)ごろまで)

(1) 日本列島の誕生 ⇨5

今から13000年～12000年ほど前になると、氷河期が終わって地球全体の気温が上がり、海面が上がって土地の低い部分に海水が流れこみ、現在のような日本列島が誕生したと考えられています。

▼5 関東地方の貝塚の分布



※今から約6000年前には、気温は今よりも1～2℃高かったと考えられています。

スナップ 縄文時代の海岸線

この当時の遺跡である貝塚を調べてみると、現在は海に面していない場所からも、海の貝の貝がらが発見される貝塚が見つかっています。このことから、貝塚がつくられた縄文時代は、現在よりも気温が高い時期があり、海岸線が現在の内陸部まで入り込んでいたと考えられています。

※貝塚……当時の人々が貝がらなどを捨てた場所。

(2) 縄文時代の人々の暮らし ➡ 6・8

① 土器(縄文土器)の登場

日本列島ができたころ、人々は土をこねて焼いた土器をつくるようになりました。この時代の土器には縄目の文様が見られることから、**縄文土器**とよばれます。このような土器を使っていた時代を、**縄文時代**といいます。

ズームアップ 縄文土器の特色

- ① 厚手で、かざりや文様が多いのが特色です。
- ② 土器の登場によって、食材を煮たり、食料を保存したりできるようになりました。
- ③ 安産や魔よけのため、土偶とよばれる人形もつくられました。

② 縄文時代の人々の暮らし ➡ 7

縄文時代の人々は、**竪穴住居**とよばれる住居をつくり、台地に定住していました。人々は狩りや漁、採集をして生活し、獲物を公平に分けあたえていました。そのため、この時代には**貧富**の差はなかったと考えられています。

狩りには、石をみがいてつくった**磨製石器**や、動物の骨などからつくられた**骨角器**が使われていました。

(3) 縄文時代の遺跡

① 大森貝塚(東京都)

東京都にある貝塚で、明治時代に来日したアメリカ人学者エドワード・モースによって発見されました。

② 鳥浜貝塚(福井県)

縄文時代の人々の人ぶんの化石(糞石)の研究により、当時の人々の食生活がわかりました。

③ 三内丸山遺跡(青森県)

縄文時代最大級の集落の遺跡です。新潟県で産出されるヒスイという石が発見されていることから、当時の人々が物々交換によって交易していたと考えられます。

※三内丸山遺跡は、「北海道・北東北の縄文遺跡群」として、世界文化遺産に登録されています。

▼6 縄文時代の道具

【磨製石器】

【骨角器】

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

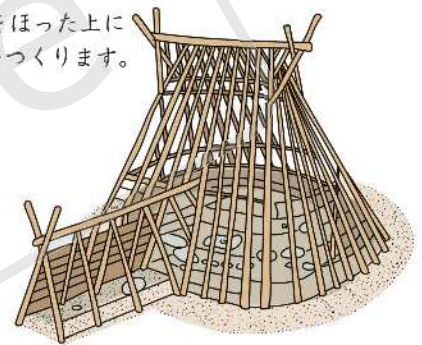
【縄文土器】

【土偶】

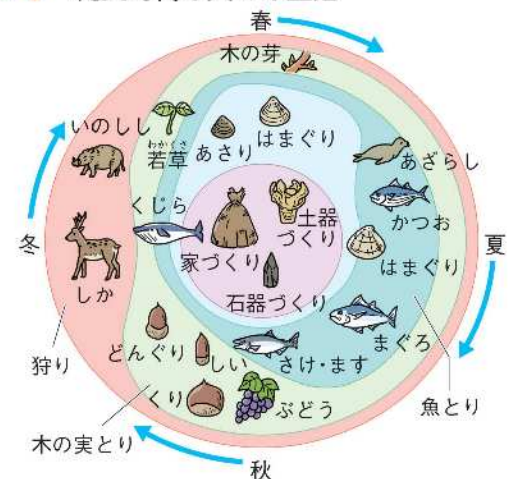
著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

▼7 竪穴住居のしくみと復元住居

※竪穴をほった上に住居をつくります。



▼8 縄文時代の人々の生活



4 弥生時代(紀元前4世紀ごろ～3世紀)

(1) 弥生土器の登場 ➡9

紀元前4世紀ごろになると、薄手で文様があまり見られない新しい土器があらわれました。このような土器は、現在の東京都文京区弥生町で初めて見つかったため、弥生土器とよばれ、この土器を使っていた時代を、弥生時代といいます。

ズームアップ 弥生土器の特色

- ① 薄手で固く、文様があまり見られない、実用的な土器です。
- ② つぼやかめのほか、食物を盛りつけるための土器(高坏)もつくられています。

(2) 弥生時代の人々のくらし

① 稲作の広まり ➡10・11

縄文時代の終わりから弥生時代にかけて、大陸から稲作の方法が伝わりました。稲作は九州地方から東北地方まで広まり、人々は安定して食事ができるようになりました。稲作には田げたや石包丁など木や石でつくられた道具が使われ、収穫した稲は、高床倉庫に保存されました。

② 社会の変化

稲作の開始によって、たくわえのある者とない者の間に貧富の差が生まれました。これによってムラに支配者があらわれるようになり、身分の差が生まれるようになりました。ムラどうしは、土地や水をめぐって戦いをするようになり、領土を広げるクニがあらわれました。

③ 金属器の使用 ➡12

弥生時代には、大陸から青銅器や鉄器などの金属器が伝わってきました。

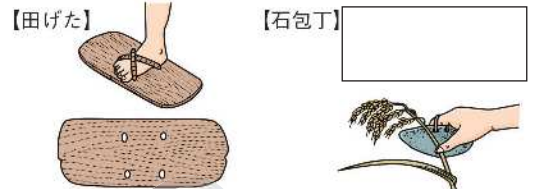
ズームアップ 金属器の使用

- ① 青銅器(銅剣・銅矛・銅たく・銅鏡など)………祭器として用いられました。
- ② 鉄器………戦いや農作業に用いられました。

▼9 弥生土器

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

▼10 稲作に使われた道具



※田げたや石包丁に開いている穴は、ひもを通すためのものです。

▼11 高床倉庫



※高床にすることで、湿気を防ぐことができます。また、高床倉庫には小動物が入ることを防ぐ「ねずみ返し」の工夫が見られます。

▼12 青銅器

【銅矛】 【銅剣】 【銅たく】



著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

※銅たくには、稲作の作業のようすなど、当時の人々の生活がえがかれています。

(3) 弥生時代の遺跡 ➡ 13

- ① 板付遺跡(福岡県)
縄文時代の終わりから弥生時代にかけておこなわれていた初期の稲作のあとが発見されています。
- ② 登呂遺跡(静岡県)
弥生時代の水田や集落のあとが発見されています。

- ③ 吉野ヶ里遺跡(佐賀県) ➡ 14
集落のまわりにほりやさくをめぐらせた、環濠集落のあとや、戦いによって命を落とした人々の人骨などが発見されています。

ズーム 戦いの始まりと環濠集落

弥生時代の集落のまわりにほりが見られるのは、敵の侵入を防ぐためであると考えられます。この時代にムラやクニどうしの戦いが起こったことを物語るものです。

(4) 大陸との交流 ➡ 15

九州地方のクニの王は、支配を強めるため中国に使いを送りました。このようすが中国の歴史書に書かれています。当時の日本は、中国から倭とよばれていました。

- ① 『漢書』地理志(紀元前1世紀ごろ)

楽浪海中に倭人あり。分かれて百余国をなす……。

- ② 『後漢書』東夷伝(1世紀ごろ)

弥生時代の水田や集落のあとが発見されています。

建武中元2年(西暦57年)、倭の奴国が来た……
光武が金印を与えた。

※この金印は、志賀島(福岡県)で発見されています。

- ③ 『魏志』倭人伝(3世紀ごろ)

倭人は帯方の東南大海の中にあり。もと百あまりの国は三十か国になり、中国に使いを送っている。……その国はもともと男子を王としていたが、倭国乱れ、女子を王とした。名を卑弥呼という。

※卑弥呼が治めていた国は、邪馬台国とよばれています。

▼13 縄文・弥生の遺跡分布



▼14 吉野ヶ里遺跡(佐賀県)と甕棺

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(吉野ヶ里遺跡で見つかった人骨)

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

※甕棺…大きな甕を棺としてつくり、死者をほうむりました。

▼15 「漢委奴国王」金印

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。



※江戸時代の1784年に現在の福岡県志賀島で発見された金印で、『後漢書』東夷伝に記された金印であるとされています。

発 展 学 習

1 考古学の研究者たち

(1) ナウマン ➡1

明治時代に来日し、フォッサマグナを発見したドイツ人学者ナウマンは、旧石器時代の象の化石を研究したことで知られています。ナウマン象の名前の由来は、この人物の名前にちなんだものです。

※フォッサマグナ……東北日本と西南日本の境目となる地帯。

(2) 相沢忠洋 ➡2・3

岩宿遺跡で打製石器を発見し、日本にも旧石器時代があったことを明らかにした相沢忠洋は、納豆などの行商をするかたわら、独学で考古学を研究した人物でした。こうした在野の人物によって、歴史をぬりかえる発見がなしとげられたのです。

(3) モース ➡4

明治時代に来日したアメリカ人学者モースは、横浜に上陸したのち、列車で移動する途中の車窓から、貝塚を発見し、のちに発掘調査をおこないました。この貝塚が大森貝塚です。モースはほかにも、ダーウィンの進化論を紹介するなど、日本の考古学・動物学に大きな功績を残しました。

2 邪馬台国はどこにあった？ ➡5

中国の歴史書『魏志』倭人伝に記されている邪馬台国の位置については、江戸時代から現在まで、さまざまな説が出され、学者たちによって長い間論争が続いています。



邪馬台国の位置に関する説

- ① 九州説……中国でつくられた青銅器が発見された王の墓や、大規模な環濠集落が九州にあることなどから考えられた説。
- ② 畿内(近畿)説……古代の王の墓が畿内(近畿)にあることなどから考えられた説。纏向遺跡(奈良県)にある箸墓古墳を卑弥呼の墓とする説がある。

※このほかにも、多くの説が存在します。

▼1 ナウマン



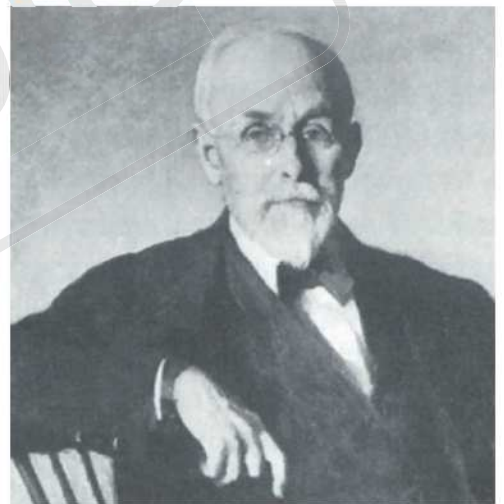
▼2 相沢忠洋

著作権者への配慮から、掲載を差し控えています。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

▼3 岩宿遺跡(群馬県)



▼4 モース



▼5 3世紀ごろの中国



※邪馬台国があったとされるころの中国は、魏・呉・蜀の3国がはげしく争う「三国時代」でした。『魏志』は、この時代のことを記した『三国志』の一部です。

トレーニング

① 年代のとらえ方について、次の()にあてはまることば・数字を答えなさい。

□(1) イエス・キリストが生まれたとされる年を紀元()年とするものが「西暦」です。

①
(1) _____ 年

□(2) 100年をひとまとめにしたものが()で、西暦1年～100年は1(), 101年～200年が2()です。

(2) _____

□(3) 日本独自の年代の数え方が「元号」です。「明治」以降の元号は、()が変わるごとに元号が変わります。

(3) _____

□(4) 現在の元号は「令和」で、令和元年は西暦()年となります。

(4) _____ 年

② 縄文時代までの日本について、次の()にあてはまることばを答えなさい。

②
(1) _____ 象

□(1) 長野県の野尻湖遺跡からは、旧石器時代の()象の歯の化石などが発見されています。

□(2) 旧石器時代、狩りには石をくだいてつくられた()石器が使われました。

(2) _____ 石器

□(3) (2)石器は、群馬県の()遺跡で、相沢忠洋によって初めて発見されました。

(3) _____ 遺跡

□(4) 今からおよそ1万3000年～1万2000年前、日本列島ができました。この時代になると、人々は()土器とよばれる土器をつくるようになったため、この時代を()時代とよびます。

(4) _____ 土器／時代

□(5) (4)時代のことは、貝がらや土器、人の骨などが見つかる遺跡である()を調べるとわかります。

(5) _____

□(6) (5)の遺跡の中で、アメリカ人のモースによって発見されたものが、東京都の()です。

(6) _____

□(7) (4)時代の人々は、()という住居に住んでいました。

(7) _____

□(8) (4)時代の遺跡である青森県の()遺跡は、この時代の最大級の集落あととして知られています。

(8) _____ 遺跡

□(9) (8)遺跡で、新潟県で産出されるヒスイが発見されていることから、当時の人々が()によって交易していたと考えられます。

(9) _____

③ 弥生時代の日本について、次の()にあてはまることば・人名を答えなさい。

▽ _____

□(1) 紀元前4世紀ごろ、大陸から稲作が伝わりました。この時代には、()土器とよばれる新しい形の土器がつくられるようになったため、この時代を土器の名前から()時代とよびます。

(1) _____ 土器/時代

□(2) 静岡県にある()遺跡からは大規模な水田のあとが発見されており、稲作のようすを現代に伝えています。

(2) _____ 遺跡

□(3) (1)時代の稲作では、右の図のように()とよばれる石器を使って、稲かりがおこなわれていました。



(3) _____

□(4) かりとった稲は、()とよばれる倉庫にたくわえられました。

(4) _____

□(5) 稲作が始まったころ、大陸から()という金属器が日本に伝わり、主に祭器として用いられました。

(5) _____

□(6) 佐賀県にある()遺跡からは、まわりにほりやさくをめぐらせた環濠集落のあとが発見されています。

(6) _____ 遺跡

□(7) (1)時代の日本を、中国では()とよんでいました。

(7) _____

□(8) 福岡県の()からは、「漢委奴国王」ときざまれた金印が発見されています。

(8) _____

□(9) 中国の歴史書『魏志』(7)人伝には、邪馬台国の女王であった()のことが記されています。

(9) _____

基本問題

1 次の年表を見て、あとの問いに答えなさい。

時代・世紀	主なできごと	中国
(A)時代	日本は大陸と陸続きであった。 ① 狩りをして生活していた。	
(B)時代	② 日本列島ができた。 狩りや漁・採集の生活を送っていた。 ③ 竪穴住居に住んでいた。 ④ 土器をつくるようになった。	
(C)時代	⑤ 稲作が全国に広まっていった。 ⑥ 金属器を使用するようになった。 新しい土器をつくるようになった。	
紀元前1世紀	倭にはおよそ100余りの国があった。	(1)
57年	倭の奴国が中国に使いを送って、 ⑦ 金印を授かる。	(2)
239年	⑧ 卑弥呼が中国に使いを送る。	(3)

1

	A	時代
(1)	B	時代
	C	時代
	1	
(2)	2	
	3	
(3)		
(4)	①	
	②	

- (1) (A)～(C)にあてはまる時代の名前を答えなさい。
- (2) (1)～(3)にあてはまる中国の国名(王朝名)を、それぞれ答えなさい。
- (3) 下線部①について、この時代の人々が狩りをした道具を、次のア～エから1つ選びなさい。



- (4) 下線部②について、この時代を知る上で重要な遺跡が、「貝塚」です。
- ① 「貝塚」とはどのような場所ですか。次のア～エから1つ選びなさい。
- ア 貝をたくさんとった場所 イ 家をたてた場所
ウ 貝がらや道具をすてた場所 エ 動物を飼っていた場所
- ② 「貝塚」のうち、東京都にある大森貝塚を発見したことで知られるアメリカ人学者の名前を答えなさい。

(5) 下線部③について、この時代の遺跡である三内丸山遺跡では、大型の竪穴式の建物あとが見つかりました。

- ① 三内丸山遺跡のある都道府県の名前を答えなさい。
- ② 三内丸山遺跡について説明した次のア～エの文のうち、まちがっているものを1つ選びなさい。
 ア 三内丸山遺跡は、この時代最大級の集落の遺跡である。
 イ 集落のまわりにほりをつくり、ほかの集落との戦いに備えた。
 ウ 新潟産のヒスイなどを物々交換で得ていた。
 エ 三内丸山遺跡は、世界文化遺産に登録されている。

(6) 下線部④の土器は、右の写真ア・イの ア イ どちらの土器ですか。ア・イの記号で答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

- (7) 下線部⑤について、次の問いに答えなさい。
 - ① この時代の遺跡である登呂遺跡からは、当時の稲作のようすがわかる水田あとなどが発見されています。この登呂遺跡のある都道府県の名前を答えなさい。
 - ② 稲作の広まりによる社会の変化について説明した次のア～エのうち、まちがっているものを1つ選びなさい。
 ア 水や土地をめぐる戦いが起こるようになった。
 イ 貧富の差や身分の差が生まれた。
 ウ 支配者によってクニがつくられた。
 エ 狩りや採集は全くおこなわれなくなった。

(8) 下線部⑥について、金属器のうち、青銅器は主にどのような目的で使われましたか。次のア～エから1つ選びなさい。
 ア 祭り イ 武器 ウ 農具 エ 狩り

- (9) 下線部⑦について、次の問いに答えなさい。
 - ① この金印に書かれていた文字を、ひらがなで答えなさい。
 - ② この金印は、志賀島という島で発見されています。志賀島がある都道府県の名前を答えなさい。

- (10) 下線部⑧について、次の問いに答えなさい。
 - ① 卑弥呼が治めていた国名を答えなさい。
 - ② 卑弥呼が中国に使いを送った西暦239年は、何世紀にあたりますか。算用数字で答えなさい。

①		
(5)	②	
(6)		
①	②	
(7)		
(8)		
①	②	
(9)		
①	②	
(10)		世紀